

平成 19 年 1 0 月 16 日

白馬村議会 議長
西澤 功 殿

白馬村新ごみ処理施設を考える連絡協議会
会長 宮田 温巳

陳情を「却下」した議員の皆さんに訴える

9月19日に行なわれた総務社会委員会で、私ども「白馬村新ごみ処理施設を考える連絡協議会」が提出していた陳情が継続審査となり、9月26日の本会議で委員会報告の通り決定されました。

私どもは、ゴミ問題が大きな山場を迎えるこの時期のそのような決定に、大きな失望を禁じえません。継続審査というからには、12月議会で引き続き審議するということですが、それまでにゴミ問題の行方が決まっている可能性があります。つまり、今回の議会の決定は、実質的には「却下」と同じです。

そこで、「却下」に賛成票を投じた議員の皆さんにお伺いします。皆さんは、私どもがお届けした「建設計画の正当性を問う（1）（2）」をお読みいただいたと思いますが、お読みいただいた上でなお「却下」に賛成とは、いったいかなる理由からでしょうか。私どもは、正当性のない建設計画に賛成の皆さんの良識を疑わざるを得ません。

今回継続審査に賛成票を投じた議員の皆さん。私どもは、私どもがお届けした資料こそ今回のゴミ問題の本質を突いていると確信しています。それに問題があるのなら、ぜひ具体的に反論していただきたいと思います。

誤解があるといけませんから付け加えますが、私どもはごみ処理施設不要論者ではありません。どこかに作らなければならない。しかし、今回の建設計画は一時ストップして計画を練り直すのでなければ、今後の公共事業を進める上で大きな禍根を残すことになると思っています。

議員の皆さん、皆さんは住民の代弁者です。ならば、署名簿で示された民意の上に行動するのも皆さんの大事な仕事の一つです。ゆめゆめ行政の番犬にならないよう祈念してやみません。

以上